

日本史

(解答番号 1 ~ 38)

問題 I 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。なお、設問における史料には、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。

日本列島における宗教は、古代より長らく、朝鮮半島や中国大陸から流入する宗教・学問・文化が在来の信仰や儀礼と習合し、政治権力と関わるなかで展開した。

縄文時代には、人々は万物に精霊が存在すると考え、精霊を祀り、供物を捧げ、呪物を^(a) 尊び、豊かな収穫を祈った。弥生時代には、稲作にもとづく農耕社会が形成され、精霊信仰に加えて、豊穡を祈る穀霊信仰や祖先を祀る祖霊信仰が発展した。

古墳時代、国家統一が進むなか、氏の祖先神や守護神を氏神として信仰することが広がった。一方で、^(b) この時代には、海外の宗教が、文物や技術などとともに朝鮮半島や中国大陸から伝わり、飛鳥時代には国策として取り入れられ、朝廷を中心に広まった。

奈良時代には、中国大陸や朝鮮半島との交流によって、A ^(c) の思想が強まり、国家の保護を受けて仏教が栄え、多様な仏教理論が研究された。当初、民間への布教は制限されたが、禁圧下でも布教する僧の貢献で制限は緩められ、仏教は民衆にも広まった。

平安時代には、中国大陸から新しい仏教が伝えられ、 ^(d) 天皇家や貴族たちの支持を集めた。また、この時代には神仏習合の風潮が強まった。平安時代の後半、続く動乱で世相が悪化し、^(e) 現世の不安を逃れ、来世に希望を託す B ^(f) が貴族から庶民まで広がった。

鎌倉時代には、仏教では、戒律や学問よりも内面的な信仰が重視されるようになった。日常生活で続けられる簡易な修行を説く仏教が、国内で新たに ^(g) おこって広がる一方、旧 ^(h) 仏教にも改革の動きが生じた。武士においては、朝廷や貴族と関係の深い旧仏教への反発と、修行を重んじる気風が好まれ、この時代に中国から伝えられた新たな仏教に信仰が集まった。鎌倉末期には、 ⁽ⁱ⁾ 仏教の影響を受けた独自の神道理論が形成された。

室町時代には、幕府は武家の上位層に広まっていた仏教宗派を保護・管理するために、京都と鎌倉に五山や C ^(j) の制を定めた。この時代には、海外の宗教や文物を伝えるだけでなく、幕府の政治や外交の顧問として活躍する渡来僧や留学僧がいた。また室町時代の後期には、神道にも新たな動きが生じて、全国に広がった。室町時代のなかば以降、鎌倉時代におこった日本独自の仏教宗派が民衆の生活に深く根を下ろして発展し、日本仏教の有力な流れをつくった。そのなかには信仰を基盤に地域で強く結束して一揆を結び、各地の政権に抗って自治を営む宗派もあった。

問 1 文中の空所 A に入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 1

- ① 鎮護国家 ② 国家安康 ③ 立正安国 ④ 興禪護国

問 2 文中の空所 B に入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 2

- ① 浄土教 ② 明経道 ③ 加持祈禱 ④ 顕教

問 3 文中の空所 C に入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 3

- ① 南都・北嶺 ② 十刹 ③ 三代格式 ④ 蔭位

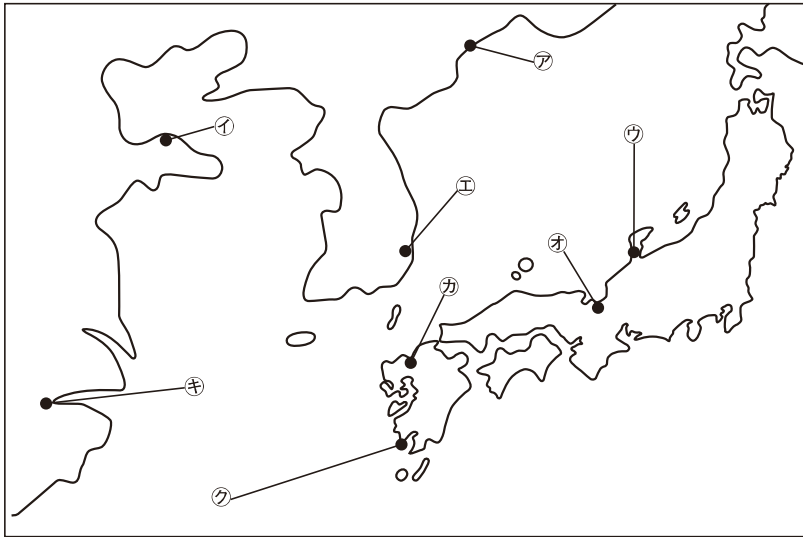
問 4 下線部(a)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 4

- ① 熱湯に入れた手が、ただれるかどうかで真偽を神判する盟神探湯が行なわれた。
② 共同墓地に環状列石を設け、筒状の円筒埴輪を副葬する風習が始まった。
③ 集落の指導者や呪術者には、上顎切歯に刻みを入れる又状研歯が施された。
④ 収穫の安定や集団の繁栄を願い、銅鐸などの祭具を用いた祭祀が営まれた。

問 5 下線部(b)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 5

- ① 新羅から五経博士や易・曆・医の諸博士が渡来して、儒教や道教、その他の知識、学術を伝えた。
② インドで誕生した仏教は、大乘仏教系統のものが、中央アジアや中国を経て朝鮮半島に入り、百済から伝えられた。
③ 渤海からの渡来人が、金属工芸・製陶・建築・土木工事などの技術や、馬の飼育、乗馬の方法などを伝えた。
④ 朱熹の打ち立てた朱子学は、朝鮮半島経由で伝えられ、ヤマト政権の身分秩序制度が構築される際に取り入れられた。

問6 下線部(c)について、次の地図に示した㉗～㉚の場所に関する記述として最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 6



- ① 渤海使では、㉗と㉘を結ぶ航路が利用された。
- ② 遣新羅使では、㉘と㉙を結ぶ航路が利用された。
- ③ 遣唐使では、㉙と㉚を結ぶ航路が利用された。
- ④ 日宋貿易では、㉛と㉚を結ぶ航路が利用された。

問7 下線部(d)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 7

- ① 学問僧であった最澄は帰国後に天台宗を開き、万人が仏になりうると説いて、南都六宗の閉鎖性を批判し、東大寺に戒壇を設立した。
- ② 渡来僧の空海は真言宗を開き、只管打坐によって現世の肉体のまま仏となれると説いて、現世利益を願う貴族に受け入れられた。
- ③ 渡来僧の無学祖元は真言宗の密教化を進め、真言宗は東密とよばれて広がり、南都六宗の諸宗派に受け入れられた。
- ④ 学問僧であった円仁と円珍は天台宗の密教化を進め、天台宗は台密とよばれて栄えたが、後に両者の門徒は激しく対立した。

問8 下線部(e)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 8

- ① 疫病や飢饉などから逃れようと、怨霊や疫神をまつる踊念仏が、神社で盛んに行なわれた。
- ② 深い山中における修行を重視する密教と、旧来の天神信仰とが結びついて、修験道が始まった。
- ③ 仏教の存続を願って曼荼羅などの経典を書写し、容器におさめて地中に埋める経塚が各地の神社に築かれた。
- ④ 神社の境内に神宮寺がおかれ、寺院に鎮守社が設けられて、神前で読経する風習が定着した。

問9 下線部(f)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 9

- ① 空也は天台の教学を学んだ後、念仏を唱えれば死後は平等に極楽浄土に往生できるという専修念仏の教えを説いて、後に浄土宗の開祖と仰がれた。
- ② 日親は天台宗を学んだ後、法華経を釈迦の正しい教えとして選び、誰もが極楽往生できることを御文で説き、講を組織して惣村に広めていった。
- ③ 道元は宋に渡って禅を学び、帰国後は坐禅そのものを重視する教えを説いて、地方武士に教えを広め、後に曹洞宗の開祖と仰がれた。
- ④ 貞慶とその弟子の明恵は、古代の律宗を復興して戒律の尊重を説く一方、道や橋の修築、貧民の救済などの社会事業に力をつくした。

問10 下線部(g)の神道理論の基礎を固めた思想家として最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 10

- ① 度会家行 ② 武野紹鷗 ③ 石上宅嗣 ④ 桂庵玄樹

問11 下線部(h)に該当する最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 11

- ① 良弁 ② 叡尊 ③ 絶海中津 ④ 陳和卿

問12 下線部(i)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 12

- ① 大江匡房は、仏と日本固有の神々とを結びつける本地垂迹説を唱えた。
- ② 北畠親房は、垂加神道の理論を背景に南朝の立場から皇位継承の道理を説いた。
- ③ 清原夏野は、仏教の戒律と神祇祭祀を統一した『令義解』を編纂した。
- ④ 吉田兼俱は、神本仏迹説の立場から儒教・仏教を総合した唯一神道を創唱した。

問13 下線部(ii)に関連して、次の史料1・2の内容とその歴史的背景の記述として最も適切なものを、後の①～④から一つ選び、マークして答えなさい。 13

史料1

叔和西堂語りて云く。今月五日越前府中に行く。それ以前越前の合力勢賀州に赴く。しかりといえども、一揆衆二十万人、富樫城を取り回く。故を以て、同九日城を攻め落さる。皆生害して、富樫一家の者一人これを取り立つ。 (『蔭涼軒日録』)

史料2

泰高を守護としてより、百姓とり立て富樫にて候あひだ、百姓等のうちつよく成て、近年は百姓の持たる国のやうになり行き候。 (『実悟記拾遺』)

- ① 浄土真宗門徒は、国人と協力して一揆を結ぶと、守護の富樫政親を打ち倒して自治を獲得したが、新たな守護の富樫泰高が組織した百姓の軍勢に制圧された。
- ② 浄土真宗門徒は、国人と協力して一揆を結ぶと、守護の富樫政親を打ち倒して、富樫泰高を守護に擁立し、本願寺が領国を実質的に支配することとなった。
- ③ 浄土真宗門徒は、困窮した国人と協力し、徳政を求めて一揆を結び、守護の富樫政親と富樫泰高を続けて打ち倒すと、幕府はそれを認めて徳政令を出した。
- ④ 浄土真宗門徒は、守護の富樫政親の悪政に耐えかね、解任を求めて国人と協力して一揆を結び、手を焼いた幕府はそれを認めて富樫泰高を守護に立てた。

問題II 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

室町時代後期になると、庶民、とりわけ商人の活躍が目立つようになり、室町幕府の財政収入は商工業者に対する課税を重要な財源の一つにして成り立っていた^(a)ほどである。さらに彼らの台頭を決定づけた転機が、応仁の乱であった。主戦場となった京都では、多くの寺社や公家・武家の屋敷が建ち並ぶ上京が焼けた。他方、商工業者の居住区である下京は比較的焼け残り、町人は京都に残った。これにより商業が勃興して京都復興の大きな力となり、1500年には町衆の主導で A が再興された。

同じ頃、各地で台頭する戦国大名は、領国の振興をめざして、領国の支配と経営に力^(b)を注いだ。戦国大名と、彼らの支配に抵抗を試みる勢力とが、それぞれに都市の整備を進めたため、さまざま成り立ちの都市が発展した。これに伴い、全国的な商取引や海外貿易で巨万の富を築き、権力者と結んで特権的地位を得る豪商が現れた。港町の博多は、B とよばれる豪商たちの合議による自治都市として発展した。

江戸時代に入ると、いわゆる初期豪商がさらに勢力を増した。徳川家康も当初は他国との貿易に積極的で、京都の商人 C をスペイン領ノビスパン(現メキシコ)に派遣するなど、その方面でも商人は活躍した。また、特定の商人らに D を組織させ、中国産生糸の一括購入、生糸の価格の決定、その利益の分配などの特権を与えた。

三都や各藩が発展してくると、個別の都市や領国の範囲を超えた貨幣の流通が、両替商によって促進された。さらに、全国的に整備された交通網や通信制度の発達によって、都市間の輸送や物流、人の流れが活発化し、商人たちが活躍する場もさらに拡大した。城下町では、商人らが居住する町人地は限られた面積しかなかったが、商人たちの力は幕府や諸藩では制御できないほどの影響力をもつに至った。こうして、江戸時代に成長した豪商の中には、明治以降、政商、財閥へと成長していく者も現れた。^(g)

ただし、幕藩体制が動揺し始めると、商人たちは時の為政者の政策に翻弄されるようになる。特に株仲間については、結成の奨励、公認、禁止と、政策が目まぐるしく変わり、その影響で物価や物流が混乱し、人々の生活もまた翻弄された。しかし、そのような時代でも、商人たちの中には文化や社会に不可欠の担い手として活躍する者もいた。その後、幕末に登場した商人たちは、新たな技術の開発やさまざまな企業の設立を通して、日本の資本主義を牽引していく実業家へと育っていった。

問1 文中の空所Aに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 14

- ① 祇園祭
- ② 建長寺
- ③ 北野御霊会
- ④ 天龍寺

7 (日本史)

問2 文中の空所Bに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 15

- ① 月行事 ② 年行司 ③ 会合衆 ④ 評定衆

問3 文中の空所Cに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 16

- ① 支倉常長 ② 三浦按針 ③ 山田長政 ④ 田中勝介

問4 文中の空所Dに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 17

- ① 糸割符仲間 ② 十組問屋 ③ 綿座 ④ 寄場組合

問5 下線部(a)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 18

- ① 莊園の年貢の半分について、守護を通じて幕府に納入させる半済令を、全国でたびたび実施した。
② 内裏の造営などの国家的行事の際には、全国的に段銭などを臨時に賦課することが実施された。
③ 海賊取締令で倭寇を減ぼした見返りに日明貿易を許され、珍重される唐物の輸入で大きな利益をあげた。
④ 金融業者に対する税として、売上げを基準とする酒屋役や、所有する室屋を基準とする棟別銭を課した。

(日本史) 8

問6 下線部(b)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 19

- ① 領国内の土地と農民の支配権を確立するため、在地の領主たちに土地台帳を提出させる指出検地を実施した大名もいた。
② 家臣団に組み込んだ地侍を有力家臣に預ける寄合制により、強力な家臣団を構成することで戦力を増強した大名もいた。
③ 神人や供御人に特権を与え、城下の特定の地域で商工業に従事させ、同業者同士での組合を奨励した大名もいた。
④ 領国支配の基本法である分国法を制定し、喧嘩両成敗のように自力救済を促進する規定をつくらした大名もいた。

問7 下線部(c)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 20

- ① 伊勢の桑名は、寺社参拝の隆盛や商人の出稼ぎ、行商などで賑わい、宿駅を主体とした宿場町として発展した。
② 信濃の長野は、善光寺を中心とした寺内町として発展し、善光寺への巡礼や参拝客だけでなく、善光寺の僧侶や商人たちで賑わった。
③ 摂津の石山は、石山本願寺を中心に門前町として発展して一大勢力となった。
④ 近江の天津は、琵琶湖の水上交通の要衝に位置したため、港町として発展した。

問8 下線部(d)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 21

- ① 幕府が鑄造する金・銀・鉄の三貨が全国に行きわたり、三都や各藩の間の商品流通の発展が促され、各藩では藩札が発行され領内の三貨の不足を補った。
② 徳川家康が鑄造させた慶長金銀は日本で最初の同じ規格・品質の金銀の貨幣で、これにより金銀の貨幣を用いた取引は安定化した。
③ 東日本では金が秤量貨幣として、西日本では銀が計数貨幣として、取引で主に用いられ、金銀間の交換比率は幕府によって全国で統一されていた。
④ 江戸時代初期には良質な輸入銅銭により安定的な取引が続いていたが、新たに鑄造された寛永通宝は質が安定せず、銅銭を用いた取引は不安定化した。

9 (日本史)

問9 下線部(e)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 22

- ① 街道には多くの一里塚や橋・渡船場・関所などの施設が整えられ、特に関東の関所では「入鉄砲に出女」を嚴重に取り締まった。
- ② 三都を結ぶ東海道をはじめ、東山道・奥州道中・中山道・甲州道中の五街道が、日本橋を起点とする幹線道路として整備された。
- ③ 陸上交通では幕府の役人や大名・旗本の御用通行が最優先とされ、使用される人足や馬は本途物成として近隣の町人や百姓が負担した。
- ④ 街道に多く置かれた宿駅には旅籠屋が置かれ、江戸中期に商人や庶民の旅が流行すると、庶民の旅行者たちは大名とは別に本陣に宿泊した。

問10 下線部(f)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 23

- ① 居住者の階層は多様だったが、地借や借家・店借で暮らす者も、地主に一定の地代や店賃を支払うことで、町の運営に参加できた。
- ② 町人地は幕府や藩が定めた町法をもとに運営され、武士身分の町年寄などの役人によって統制された。
- ③ 町人は、城下町の都市機能を支えるための負担について、町人足役という夫役をつとめるか、貨幣で代納するように求められた。
- ④ 幕府や藩は町人の中から特に有力なものに町奉行を務めさせ、城下町の行政を補佐させた。

問11 下線部(g)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 24

- ① 三井家は、江戸時代には越後で「現金掛け値なし」の商法で繁盛した呉服店や両替商で財を成し、明治以降は三井財閥として栄えた。
- ② 角倉家は京都の土倉として繁盛し、江戸中期には海運航路の開発などで幕府に認められて豪商となり、明治以降は住友財閥として栄えた。
- ③ 岩崎家は海運事業を核としながら、幕末には炭鉱や造船などの経営に乗り出して発展し、明治以降は三菱財閥として栄えた。
- ④ 鴻池家は、江戸時代には大坂の両替商として成長して本両替にまで発展し、明治以降は鴻池財閥として栄えた。

(日本史) 10

問12 下線部(h)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 25

- ① 為永春水は庶民の間で人気を博した滑稽本の代表的作者であったが、享保の改革で処罰された。
- ② 享保期には大坂の町人たちの出資によって適塾が設立され、町人たちが自主的に朱子学や陽明学などを学んだ。
- ③ 鳶屋重三郎は本屋耕書堂を経営し、多くの書籍や絵を刊行したが、洒落本を出版したとして、寛政の改革で処罰された。
- ④ 天保の改革では、幕府の勧めで商人たちが新田開発に資本を投下し、手賀沼や印旛沼でも大規模な干拓工事を始めた。

問題Ⅲ 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

日本とアメリカ合衆国という太平洋を挟んだ「隣国」間の外交関係の端緒は、アメリカが日本に対して開国を迫った19世紀なかばにまで遡ることができる。アメリカは幕府に対して港を開かせると、その港に総領事として **A** を着任させた。そして彼を通じて通商条約の締結を要求し、幕府との間で 日米修好通商条約を締結した。他方で、この時幕府が締結した条約は、法的・経済的に日本にとって不平等な内容を含む条約だったため、後に ^(b) 明治政府はこの条約の改正に多大な時間と労力を費やすこととなった。しかしながら、開国から20世紀初頭に至るまで、日米関係は概ね良好であり、日露戦争の際にも 日本はアメリカの仲介によってロシアとの講和条約を締結した。

こうした ^(c) 日米間の良好な外交関係は、20世紀初頭以降、徐々に悪化していった。ハワイを併合し、^(d) フィリピンを支配して東アジアに勢力拡大をめざすアメリカと、中国大陸で権益を拡大する日本の利害が、衝突するようになったからである。しかし、1920年代に入ると国際的な反戦、平和主義の潮流の下で、冷えて切っていた日米関係は再び改善へと向かった。アメリカは、ワシントンに列強の国々の代表を招いて会議を開催し、この会議に日本全権の一人として **B** が参加した。この会議にて形成された国際秩序は、ワシントン体制とよばれることとなった。

^(e) しかし、こうした日米間の友好関係も長くは続かず、恐慌による混乱、日本の軍備拡張や中国大陸への侵略によってワシントン体制は崩壊し、東アジア・太平洋地域における日米間の協調の枠組みは失われた。この後、日本は広田弘毅内閣の下で **C** を発表して、ドイツとの連携を深める一方、大陸に加えて南方への進出を掲げた。このような日本の外交政策によってアメリカとの衝突は不可避となり、^(f) アジア・太平洋全域での戦争へと突入した。

戦後、日本は連合国の占領下に置かれ、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ/SCAP）が設置された。しかし、実質的にはアメリカが日本を統治した。アメリカによる対日統治政策の柱の一つは民主化であり、その一環として、社会運動の取り締まりや弾圧を担当していた **D** が、GHQの指令で廃止された。他方、東アジア情勢の緊迫化を背景に、占領政策のもう一つの柱であった 非軍事化は数年で改められ、日本は東アジアにおける反共の防波堤として再び軍事力を保持することとなった。加えて、日本はサンフランシスコ平和条約にて主権を回復する一方、平和条約と同日に締結された日米安全保障条約によって、引き続きアメリカの軍事的影響下に置かれた。その後調印された ^(h) 日米相互協力および安全保障条約は、東アジア・太平洋地域における安全保障体制の基盤を形成するも、非常に多くの問題を含みながら現在も継続されている。⁽ⁱ⁾

問1 文中の空所Aに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **26**

- ① ロッシュ ② フィルモア ③ パークス ④ ハリス

問2 文中の空所Bに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **27**

- ① 山本権兵衛 ② 尾崎行雄 ③ 加藤友三郎 ④ 牧野伸顕

問3 文中の空所Cに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **28**

- ① 国策の基準 ② 国防の本義と其強化の提唱
③ 国体明徴声明 ④ 東亜新秩序声明

問4 文中の空所Dに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **29**

- ① 特別高等警察 ② 枢密院
③ 大政翼賛会 ④ 関東軍

問5 下線部(a)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **30**

- ① 下田・長崎・新潟・兵庫が新たに開港されたのに加えて、江戸と大坂が開市されることとなった。
② 老中の阿部正弘が、イギリスやフランスの軍事的脅威を背景に、天皇の勅許を得ないまま調印を断行した。
③ 外国人は、開港場に設けられた居留地に限定して居住が認められ、日本国内の自由な旅行は禁じられた。
④ 幕府は、類似の内容の条約をオランダ・ロシア・イギリス・スペインとも締結した。

問6 下線部(b)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 31

- ① 岩倉具視は、多くの使節団員らとともに条約改正の予備交渉に臨んだものの、具体的な成果を上げられず、欧米諸国を視察して帰国した。
- ② 大隈重信は、アメリカとの交渉を進めて関税自主権の回復で合意に達したものの、イギリスやドイツの反対によって条約改正に失敗した。
- ③ 井上馨は、イギリスとの条約改正交渉を開始したが、ロシア皇太子暗殺未遂事件を受けて引責辞任し、交渉は中止された。
- ④ 小村寿太郎は、領事裁判権の撤廃や最恵国待遇の双務化を含む日英通商航海条約に調印した。

問7 下線部(c)の講和会議の仲介をはかったアメリカ大統領として最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 32

- ① ジョン・ヘイ
- ② タフト
- ③ トルーマン
- ④ セオドア・ローズヴェルト

問8 下線部(d)について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 33

X 日本の台頭を警戒して黄禍論が高まったことで、アメリカの西海岸を中心に日本人移民の排斥運動が激化した。

Y 満州市場に関心をもつアメリカは、門戸開放を訴えて日本による南満州権益の独占に反対し、南満州鉄道のアメリカへの譲渡を提案した。

- ① X — 正 Y — 正
- ② X — 正 Y — 誤
- ③ X — 誤 Y — 正
- ④ X — 誤 Y — 誤

問9 下線部(e)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 34

- ① 日本、アメリカ、イギリス、ソ連の間で太平洋諸島の現状維持と領土保全を相互に取り決めた。
- ② 中国と中国に権益をもつ8か国の間で、中国の主権と独立の尊重、門戸開放、機会均等が確認された。
- ③ 日本、アメリカ、イギリスの間で主力艦の保有量の取り決めがなされ、日本の保有トン数は米英の約7割に制限された。
- ④ 多国間で新たな条約が締結されたことで、日英同盟と不戦条約は廃棄された。

問10 下線部(f)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 35

- ① 開戦直後、日本軍はハワイでアメリカ艦隊を攻撃する一方、イギリス領インドに奇襲上陸し、大きな戦果を上げた。
- ② マリアナ諸島のサイパン島が陥落すると、その責任を負って、小磯国昭内閣は総辞職した。
- ③ 日本軍は、沖縄にて本土決戦に備えて持久戦をとったため、巻き込まれた一般住民に大量の犠牲者を出した。
- ④ ソ連は、日ソ中立条約を突如破棄して日本に宣戦を布告し、北海道に一挙に侵攻した。

問11 下線部(g)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 36

- ① 国内外に配備された旧日本軍は武装解除されることとなったが、激しい抵抗運動が起きたために解体は進まなかった。
- ② 軍国主義を助長したり、戦争に協力したりしたとして、戦後公職を追放された旧軍人や有力政治家の公職復帰が認められた。
- ③ 在日アメリカ軍が朝鮮戦争に動員された後の治安維持のために、GHQは保安隊の創設を指示した。
- ④ 日本は、アメリカと日米行政協定を締結してアメリカから援助を受ける代わりに防衛力増強の義務を負った。

15 (日 本 史)

問12 下線部(h)についての記述として誤っているものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

37

- ① 条約締結をめぐって、日本国内では中国やソ連を含むすべての連合国と講和すべきか、西側自由主義諸国とのみ講和すべきかで、論争がおこった。
- ② 日本は朝鮮の独立を承認し、南樺太と千島列島をアメリカの施政下に置くことに同意した。
- ③ 条約の発効によって、GHQによる占領統治が終結し、日本は独立国としての主権を回復した。
- ④ 中国は主要な交戦国であるにもかかわらず、代表権をめぐるとの対立のため、中華民国も中華人民共和国も条約締結の会議には招かれなかった。

問13 下線部(i)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

38

- ① 条約継続を望む際には自動的に延長されるが、条約発効から10年が経過した後は日米両国の合意の下で条約廃棄の通告が可能となった。
- ② アメリカによる日本防衛義務が明文化されたことで、在日米軍は日本および極東地域で日本政府に諮ることなく軍事行動が可能となった。
- ③ 条約締結をめぐって全学連（全日本学生自治会総連合）や多くの一般市民が、国会議事堂前にて大規模なデモによる反対運動をおこした。
- ④ 条約締結をめぐって衆参両院で激しい論争となったが、両院にて強行採決されて成立した。